

発行責任者 北川崇誠

編集者 北井悟司

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

## <2024年 北川議長年頭の挨拶>

元日の能登半島大地震、二日の羽田空港事故と、2024年は心痛む始まりとなりました。犠牲者の方々には心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災者の方々が一日も早く立ち直られることを願っております。



さて、2023年は新型コロナウイルスもひと段落し、南和地協定期総会を開く事や幹事会、学習会、ファミリーイベント、研修会など書面で開催していたものも顔の見える形で南和地協の運動を推進してきました。今年辰年という事もあり昇龍の如くみなさんと一緒に南和地協の運動を前進させて行きたいと思っておりますので、ご協力をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

《連合奈良 南和地域協議会 議長 北川崇誠》

**連合奈良**  
**なぜ労働組合が必要なの？**  
職場で発生する様々な不安

不払い残業代の問題や不当解雇、セクハラなど、職場に関する悩みは千差万別。将来をしっかりと描けるような環境で働きたいという希望も、多くの人が抱くものです。

- セクハラ
- パワハラ
- 不当解雇
- 賃金アップ
- ワーク・ライフ・バランス

雇う側と対等な立場で交渉できる。  
それが、労働組合です。

## 1月連合奈良の日 能登半島地震カンパ実施！ 八木駅で56,372円集まる！

1月10日に近鉄大和八木駅で、連合奈良の日街宣行動を行いました。当日は通常の街宣行動に加え、1月1日に起きた『能登半島地震救援カンパ』を行いました。



震度7を観測した地震は、日が経過するほどに、被害が拡大し、220人以上の方がお亡くなりになり、家屋の崩壊

をはじめ被害が拡大しています。

初動対応の不備から、未だに放置されている人がおり、厳しい寒さの中で被災者の人たちは苦しい生活を余儀なくされています。

そうした状況に対し、少しでも被災者の人たちのお役に立てればとの思いから、救援カンパを行いました。その結果、過去のカンパ活動にない、56,372円を集め、行動すれば結果がでる事の証左で、世の中まだまだ捨てたものではないと感じました。この行動をスタートに今後も支援活動を継続することします。当日の参加者、地協役員等22人、森山奈良県議、今井橿原市議、上田邦橿原市議、森永大淀町議の合計26人が参加しました。

